

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年7月14日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0890700016		
法人名	株式会社 フレンド		
事業所名	ふれんど小規模多機能施設 結城	ユニット名	—
所在地	〒307-0001 茨城県結城市大字結城11766-3		
自己評価作成日	平成26年1月6日	評価結果 市町村受理日	平成26年7月2日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_021_kani=true&JigyosyoCd=0890700016-00&PrefCd=08&VersionCd=021
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成26年2月12日	評価機関 決 済 日	平成26年6月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ふれんど小規模は、朝の7時30分より家族様送迎の方は受け入れて、夕方も食事希望の方は17時30分に食事を摂り、18時ふれんど出発で送ります。
又、宿泊も随時受けており、土日も利用者様のニーズにより柔軟に対応致します。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者が住み慣れた地域での暮らしを継続していけるよう、利用者や家族等の意向にそって急な宿泊にも対応したり、家族等の送迎で朝の早い時間帯から夕方遅い時間帯まで対応したりしているほか、帰宅が遅くなる場合は夕食を提供するなどの支援をしている。
事業所は認知症高齢者をサポートするための拠点となるよう取り組んでおり、事業所主催の認知症サポーター養成講座を開催する際には、地域の住民に参加を呼びかけ、多くの方の参加を得ている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念はもちろん25年度下期より唱和とし、別のを作り朝唱和し共有を図っています。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を作成している。 理念の一つに「地域と連携交流を取りながら利用者様が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らしていける様支援して行きます」を掲げ、利用者が通いや宿泊、訪問などのサービスを受けることで、住み慣れた地域での生活が継続できるよう支援している。 理念を玄関や食堂兼居間に掲示して朝礼時に唱和したり、職員会議で理念の意義について確認したりするなど、管理者や職員は理念を共有して実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎月ふれんどだより配布 推進委員会と一緒に認知症サポーター研修等も地域の方、老人会の方に声かけし行います。	自治会に加入して回覧板が届くほか、自治会長から地域の情報を得ており、職員が地域のバーベキューなどに参加している。 定期的に習字や民謡のボランティアが来訪しているほか、カラオケやギターのボランティアを受け入れ、利用者が交流できるよう支援している。 自治会や老人会を通じて認知症サポーター養成講座のパンフレットを配り、地域の人々の参加を得ながら講座を開催している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方と一緒に認知症の寸劇を行ったりし、喜ばれました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2かげつのに1回市役所、民生委員さん、利用者様のご家族様に声かけし、利用者様の状況、行事、その他伝達、意見交換を計っています。	市職員や家族等の代表、自治会役員、地域住民が参加する運営推進会議を開催しているが、2ヶ月に1回開催するまでには至っていない。 会議では行事を中心とした事業所の活動状況を報告しているほか、家族等からは事業所を利用してからの利用者の様子や感想などを聞いている。 運営推進会議に合わせて認知症サポーター養成講座を開催し、地域の人々の参加を得ている。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	疑問点等を指導して頂いたり、市主催の研修、勉強会に参加したり、ふれんどの会議等に参加して頂いたりしています。	管理者は介護保険の疑問点や介護保険請求について市の担当者にお問い合わせたり、相談をしたりしている。 3ヶ月に1回市の生活保護担当者が来訪する機会に、生活保護受給利用者の生活状況や事業所の運営状況を報告したり、情報交換や相談をしたりしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者様一人ひとりに寄り添って対応し、決して身体拘束はしません。	管理者は日々の生活の中で利用者に対する職員の態度や言葉遣いに注意を払い、少しでも身体拘束に当りそうな場合は注意を促すとともに、職員会議で事例として取りあげて話し合っている。 管理者や職員は玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに努めているが、身体拘束をしないケアについてのマニュアルを作成するまでには至っていない。 法人で定められた年間の研修計画があり、職員は交代で参加しているが、事業所独自の研修を実施するまでには至っていない。	身体拘束をしないケアに関するマニュアルを作成するとともに、身体拘束に関する内部研修を実施することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	必要性を学び、常に利用者様ご家族とコミュニケーションを取り、様子観察をします。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	利用者様にとって必要な時は市役所、日常生活自立支援事務所に相談し、利用しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約は常にケアマネ相談員と2人で伺い、契約説明と施設（小多機の良い点、悪い点）を説明してご理解を得ます。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様のご家族の意見は、即職員会議または毎朝のミーティングに伝え、話し合い共有します。	送迎時に家族等から連絡事項や要望を聞くほか、連絡帳を活用して利用者の事業所での様子を報告することにより、意見等の汲みあげにつなげている。 家族等が来訪した機会に意見や要望を聞くようにしている。 知り得た情報は申し送りノートに記載して共有を図っているが、出た意見等を検討して運営に反映させるまでには至っていない。	年1回程度無記名のアンケートを実施し、利用者や家族等の意見を汲みあげるとともに、出た意見等を話し合い、運営に反映させることを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼、昼休み、月のミーティング等にまたは随時伺い業務に生かしています。	毎月職員会議を開催して職員から意見や提案を聞くように努めており、物品購入などの意見等を運営に反映させている。 管理者は会議以外でも職員がいつでも意見や提案が出せるよう、休憩時間などにコミュニケーションを図り、意見や提案が出し易い関係づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に1度労働条件等を確認職員が各自希望を持って働けるよう上司等にも伝え、条件の整備に努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回のミーティングを開き、意見交換や勉強会を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同会社の他事業所と合同の勉強会を行いました。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスの利用を開始する段階で、ご家族様の困っていること、不安、ご要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスの利用開始前に情報を伺い、今一番何をして欲しいかを見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用して頂いている中で、利用者様のできることに、できないこと、好きなことを見極め、支援していきます。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人とご家族様の関係を大切に、連絡の取り合えるように支援します。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様のお友達のボランティアの方々、または近隣の人々等に声かけし、支援しています。	利用者の友人が訪ねて来ており、お茶を出して歓迎するなど、馴染みの関係が継続できるよう支援している。 地域の馴染みの理容店が定休日に利用者の希望にそって事業所を訪れ、有料で散髪を実施している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	全体でモノを作り上げたり、誰とでも声かけできる環境を作っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も施設に訪問したり、時々ご家族様にご連絡等もとっております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人、ご家族様からの情報を職員間で共有するとともに申し送りノートに記入して職員が再度印鑑を押して確認します。	職員は利用者の行動や会話の中から思いや希望、意向の把握に努めているほか、家族等の来訪時に話を聞いて情報を得ている。 意思疎通が困難な利用者の場合は、普段からの表情やしぐさ、態度を観察して思いの把握に努め、利用者本位の支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様、本人、関わりのある方々等の情報を伺い、サービス利用等につないでいます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	小多機ケアー計画を作り、本人の状態にそって支援しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	小多機ケアー計画を関係者で話し合って作り、支援しています。	介護計画は利用者や家族等の意見を聞いて介護支援専門員が作成している。 毎月モニタリングを実施し、6ヶ月毎に介護計画を見直している。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、随時現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録に日々の様子、気づき、工夫を記入し職員間で共有し活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通所、訪問、宿泊を組み合わせ、ご家族様、本人の希望を支援していきます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の方々、市役所福祉課、包括センターボランティアの方々と交流を取りながら、支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様、ご家族様の希望を大切にしています。医療機関との良い関係を気づいていけるように支援しています。	かかりつけ医への受診は基本的には家族等が付き添っているが、要望があれば家族等と一緒に職員も同行して受診を支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	一日一日の利用者様の状態を確認し、気づき等を看護師、職員で共有し、なお病院等の連絡につないでいます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、退院時の情報を交換し、本人、ご家族様にとって良い支援が得られるよう協力しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用中にご家族様と話し合いの場を持ち、説明し医療が必要な時はそれなりの所を紹介し、またはご家族様も見守っていくことが困難になったときの事も説明し、施設等もお話しています。	事業所では看取りはしない方針で、利用者が重度化した場合には適切な医療機関などにつなげるように支援している。重度化した場合の事業所の方針を明文化するまでには至っていない。	事業所では看取りを実施しないことや重度化して医療的処置が必要となった場合には、利用者や家族等と話し合っって医療機関などにつなげていくことを明文化し、契約時に利用者や家族等に説明して承諾を得ることを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時、事故に備えて常に勉強会、ミーティングを開いています。連絡網を作っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を年2回、昼、夜間帯を想定し実施しています。近隣の住民に声掛けをし、参加していただき消防署立会いのもとで行います。	併設する通所介護事業所と合同の総合訓練を実施した時に、事業所では夜間想定避難訓練を実施している。訓練終了後には実施記録を作成しているが、訓練時の参加者や反省点を記載するまでには至っていない。訓練に参加した地域住民から避難経路の一部の段差を指摘され、改善するようにしている。避難訓練は総合訓練1回のみで、地震を想定した訓練は実施されていない。災害に備えて乾パンや飲料水を備蓄はしている。	避難訓練は年2回以上実施するとともに、地震を想定した避難訓練を実施することを期待する。「消防訓練実施結果報告書」に避難訓練の参加者を記載したり、反省会で出た意見等を詳細に記録することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様一人ひとりの人格を尊重し、プライドを傷つけ内容支援しています。	管理者は職員の言葉遣いに注意を払うほか、職員が利用者との馴れ合いの関係の中、不適切な接し方をした場合には注意を促し、全職員が利用者の人格を尊重した対応ができるように努めている。 個人情報を含む書類は施錠ができる職員室で管理している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人のご要望はいつでも聞ける状態であるが、上手く話ができない方がほとんど、介護者が状態確認しながら見極めていきます。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全体としての行事はあるが、個別にその人に相応しい一日を支援しています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員が髭剃りをしたり、散髪をしたり、または毎週火曜日利用者様の希望により床屋さんが来ます。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	納入食材を使い選択メニューを用意し、好みによって召し上がって頂きます。月に1回は職員との交流として、みんなで食べたり、外食にも行きます。	業者の献立により納入された食材を使って事業所の調理場で通所介護事業所の食事と一緒に調理員が調理をしている。誕生者がいる月には弁当を注文して全員で祝ったり、3ヶ月に1回程度回転寿司などの外食の機会を設けている。利用者は職員と一緒にできる範囲でテーブル拭きや下膳などを担っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランス、水分摂取量を一人一人の状態に合わせ、摂取量をチェックしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後必ず一人ひとり口腔ケアを行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンに合わせて、または時間により誘導を行っています。おむつは取るよう支援しています。	職員は排泄に関する記録表を基に利用者一人ひとりの排泄のリズムを把握し、利用者に応じた排泄の支援をしている。利用当初は夜間おむつを使用していた利用者が、利用者の希望もあり、夜間も紙パンツに切り替えて職員による適切なトイレ誘導を実施したところ、夜間でもトイレで排泄ができるよう改善している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便確認を必ず行い医師と相談し、本人の負担にならないようにしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人にあった入浴方法により清潔になり、さっぱりした気分になりお風呂への楽しみを持って頂きます。	入浴は午前中となっており、一般浴や機械浴、リフト浴の設備が有り、利用者の状態に合わせて対応しているほか、入浴介助は安全面に配慮して職員2人体制で行っている。 毎日通いサービスを利用している利用者の入浴は週3回の入浴を基本とし、入浴のない日には足浴を実施している。 楽しみながら快適に入浴ができるよう、入浴剤を使用している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	清潔に整理整頓をした部屋で、安心して休んで頂きます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人個人の薬を把握し、管理し看護師がその都度、手渡しを行います。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人個人に出来る仕事を手伝って頂き、褒めて自分にも出来るという気持ちになって頂きます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	行事的に外出を組んだり、またはその日に合わせてドライブとか気分転換を計っています。	気分転換を兼ねて散歩に出かけるほか、近くのショッピングセンターに出かけ、少額の小遣いで買い物ができるように支援している。 季節に合わせた月間の外出計画を立て、筑波山や古河市にあるネーブルパーク、小山市の大沼公園などに出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	行事にお買い物を入れ、利用者様と職員と一緒に行動し、買うことの楽しみを持って頂きます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎年本人が年賀状を書き、お礼を込めて出しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様手作りの作品を飾ったり、毎月のカレンダー等を作り、雰囲気作りを行っています。	居間兼食堂は天井が高く、天窓から自然光を取り入れ明るく快適な空間となっている。 月末の週に利用者と職員で貼り絵のカレンダーを毎月制作し、居間兼食堂の壁面に飾るとともに、その周りも季節に合わせた飾り付けをしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを置き、そばにフットマッサージを置き、居場所作りをしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	宿泊室は個人的に決まっております、自由に使わせて頂きます。また、夜間の室温の配慮を心がけています。	泊まりの部屋にはベッドや寝具、洋服箆が備え付けられており、着替えの衣類を持参すれば宿泊ができる環境となっている。 宿泊する場合は前回と同じ部屋に泊まれるように配慮するとともに、家庭で使い慣れた物品を持参してもらうよう説明し、居心地よく過ごせるように支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個人的に歩行したい方は、職員に話し歩いたり、自分の出来ることは進んで行っています。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 ふれんど小規模多機能施設結城

作成日 平成26年7月9日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	社内研修及び一般の研修にスタッフがそのように参加して行けるか	各スタッフのスキルアップ、ポジションごとの研修	ひとりの集中したスタッフが研修に参加するのではなく、皆が参加できるよう取り組んでいく	1年間
2	33	疾病の重度化や看取りの実施について、希望される利用者がある	介護支援の出来る範囲の説明をする	組織上の都合を説明し理解を得る。	6ヶ月
3	2	地域自治体との交流行事への参加が少ないため、どのように参加していくか	地域と関わりを持ち、関係をよくしていく	レクリエーション、行事等に地域の方の参加を促し、交流を得る。また、スタッフが地域の行事に参加する	1年間
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。